



リアルフリーグが優勝 松前町軟式野球大会

松前町軟式野球大会は7月14日、松前公園多目的広場で開催され、猛暑の中、10チームが熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

優勝 リアルフリーグ
準優勝 プレイザーズ



卓球で63人の男女が熱戦 第36回松前町卓球大会

第36回松前町卓球大会は7月14日、松前公園体育館で開催され、4部門で熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです(敬称略)。

- ▶**団体の部** ①松前中学A(池田啓悟、米田祐大、竹内尚也、山下奨斗、関家脩平、向井崇敏) ②くまもん(野口英伸、永田敏治、山本満、大西時子、吉良ひとみ)
- ▶**男子シングルスA** ①野口英伸②池田憲俊③西田貴③高須賀健太
- ▶**男子シングルスB** ①池田啓悟②米田祐大③持田新悟③山下奨斗
- ▶**女子シングルス** ①城戸久美子②森本裕美子③佐藤澄子



虫干祭で熱演 徳丸一座

徳丸一座(八城秀樹座長)の第18回公演は8月2日、虫干祭で人がにぎわう高忍日賣神社に設けられた特設舞台で開かれ、大型時代劇「男の花道 吉良の仁吉」全三幕を上演しました。

この日のために約2カ月の練習を重ねてきた座員たち。キャストはプロ顔負けの熱演をし、音響、照明などを担当するスタッフは芝居に合わせて舞台を彩り、観衆を魅了。終了後は、観衆から拍手喝采を浴びました。

徳丸文化部長は「今後も19回、20回と(上演を続け)、頑張っていきたい」と話し、充実感と次に向けての決意に満ちた表情を見せていました。



④仁吉絶命、妻おきくも後を追って絶命 ⑤仁吉はおきくとの離縁を苦渋の決断 ⑥義兄弟長吉への義理立てから、命を投げ打って立ち向かう仁吉



町内の10人と2団体が受賞 第52回交通安全県民大会

交通安全県民大会は7月18日、ひめぎんホールであり、交通安全協会員ら約2000人が交通事故のない愛媛を目指し、飲酒運転の根絶などを誓いました。また、交通安全活動に尽力した個人・団体の表彰が行われ、本町からは10人、2団体が受賞しました。受賞者は次のとおりです(敬称略)。

▼知事表彰 <個人>八束兼福(徳丸) <団体>東レ株式会社愛媛工場 ▼県民総ぐるみ運動愛媛県本部長感謝状 日野信子(北黒田) ▼県警察本部長・県交通安全協会長連名表彰 <交通安全功労者> 石田繁治(北川原) <優良運転者> 藪下節夫(宗意原)、玉井隆彦(筒井)、武井健二(恵久美)、川中マサコ(西高柳) <優良学校等> 宗意原保育所 ▼四国管区警察局長・四国交通安全協会長連名表彰 <優良運転者> 由井一夫(出作) ▼交通安全賞章緑十字銅賞 <優良運転者> 奥田正(北黒田)、門屋正(徳丸)



知事表彰を受賞した松前町交通安全指導員の八束さん 本部長感謝状を受賞した松前町交通安全指導員の日野さん



ようこそ松前町へ まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童10人が、ふれあい交流事業の一環として、7月29日から31日まで本町を訪れました。

今回初めて顔を合わせた児童たち。松山空港では、お互い緊張した表情を見せていましたが、その後訪れた松山城では、どの児童も笑顔に。すっかり打ち解けて、楽しいひとときを過ごしました。

2日目には、両町の児童19人で白石勝也町長を表敬訪問。交流事業や松前町を訪れての感想などを話し合いました。その後、エミフルMASAKIに移動し、ショッピングと夕食を満喫。その他、砥部焼絵付け体験、道後散策などを通じて愛媛の文化に触れ、さまざまな体験を共有することで、1,500キロ離れた友人との絆を深めていました。

お別れのときには「今回はまつまえの皆さんがまさきの暑さを体感したから、今度はまつまえの寒さを体感したい」とまさきの児童が話すなど、児童たちは再会を楽しみにしていました。

12月にはまさきの児童が、まつまえ町を訪れる予定です。



④初日の松山城見学。天守閣に入り、興味津々の児童たち ⑤2日目に行った砥部動物園。動物の足跡をみんなでたどって、入口へ向かう



④庁舎にてみんなで記念撮影 ⑤エミフルでの時間を楽しむ児童たち ⑥最終日の松山空港でのお別れ式。再会を誓って握手を交わす



新鮮なハモ、しらすを

漁協女性部が実演販売開始

松前町漁業協同組合(西村元一組合長)は、「とるだけの漁業から加工や流通にまで関わる漁業」を目指し、まさき村(エミフルMASAKI内)で、ハモやしらすなどの実演販売を始めました。

実演販売を行っているのは、組合女性部。漁協事務所=浜=のいけすで、生きていたハモを手際良くさばいて加工していきます。「夫が漁に出てとってきたものを、奥さんが加工する形は素敵」と女性部の皆さん。加えて「松前でハモ?と知らない人も多い。ぜひ一度食べてもらいたい」と口をそろえます。

女性部の思いが詰まったハモたちは、まさき村でも好評です。「ハモは思ったよりあっさりしているし、しらすもぷりぷりして新鮮」と、藤井幸里ちゃん(9)=北黒田=も満足そうに話します。

まさき村にはハモ丼、釜揚げしらす丼をはじめ、しらすのかき揚げ、ハモの竜田揚げや南蛮漬けなど幅広いメニューがそろっています。さらに、干物や真空パックなどの事業拡大を考えている漁協。今後も目が離せません。



ハモ



④ハモ、しらすを求め、多くの人が訪れる ⑤先ほどまで生きていたハモをさばく ⑥加工完了。まさき村をはじめ、伊予市の業者などにも卸している ⑦幅広いメニューがそろう



ハモ丼



しらすせんべい

夫婦の二人三脚で、新しい松前ブランドを生み出す

県庁でも好評!

ハモ丼、さくべえ弁当求め行列

8月の毎週金曜日に、県庁で漁協、まさき村をはじめとする町内企業などが弁当、塩パンやスイーツを販売しました。当日は多くの人々が行列を作り、今か今かと待ちわびる姿も。開始とともに売り切れてしまう商品も出るなど、連日大盛況のうちに終了しました。



⑧松前の味を買い求める人々 ⑨まさき村のさくべえ弁当。さくべえコロッケが入っている ⑩漁協の釜揚げしらす丼。すぐに完売

観光物産館内の

松前専用ブースに人にぎわう

8月中の1カ月間、えひめ愛顔の観光物産館(松山ロープウェー街)に、本町のブースが登場しました。本ブースには、いりこやちりめんなどの珍味がずらりと並び、訪れた観光客から好評を得ていました。

